

# CASIO

## IQ-1160NJ

### 取扱説明書

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

カシオ計算機株式会社  
〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

## 本機の特長

- 電波時計（国内 2 局対応自動選局機能付）  
福島県「おおたかどや山」(40kHz)  
佐賀県と福岡県の境「はがね山」(60kHz)
- 電波受信機能のオン / オフ切り替え
- 夜見えライト  
周囲が暗くなったことを感知すると LED ライト（文字板照明）が自動的に点灯
- 秒針停止機能  
周囲が暗くなったことを感知すると秒針が自動的に停止（秒針が動くときの音が鳴りません）

## 安全上のご注意

**絵表示について**  
本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 危険** 死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
- 警告** 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
- 注意** 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

- 絵表示の例**
- 分解禁止** ○記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。
  - 注意** △記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
  - 警告** ●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

## 警告

### 袋をかぶらない、飲み込まない

- 本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしない。  
かぶる、飲み込む、などの行為は、窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### 電池について

- 電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。  
目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。
- 乳幼児の手の届く所に電池を置かない。  
お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

### 設置場所について

- 次のような場所に置かない、使わない。  
火災・感電の原因となります。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
  - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所
- 不安定な場所に置かない、不確実な掛け方をしない。  
落下・転倒時には、けがの原因となります。

### 分解・改造しない

- 本機を分解・改造しない。  
けがの原因となります。

## 注意

- 破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。
  - 分解しない、ショートさせない
  - 充電しない
  - 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
  - 種類の違う電池を混ぜて使わない
  - 加熱しない、火の中に投入しない
  - 本機で指定されている電池以外は使わない
  - 被覆のはがれた電池は使わない
  - 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる
  - 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
  - 電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する

- 電池が液漏れしたまま使用しない。  
火災・感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理に関するお問い合わせ先」に連絡してください。
- 長く伸ばした爪で電池の着脱をしない。  
けがの原因となることがあります。

## 使用上のご注意

- 使用環境や保管環境について  
本機に強い衝撃を与えないようにご注意ください。また、下記の場所での使用や保管はおやめください。故障の原因となります。
  - 極端な温度や湿度になる場所
    - 暖房器具の近くや直射日光が当たる場所
    - 自動車のダッシュボードの上
    - 浴室など湿気の多い場所
    - 使用温度の範囲を外れる場所
  - 強い磁気を受ける場所
    - 磁石（磁気ネックレスを含む）の近く
    - スピーカーの近く など
  - 塵やほこりの多い場所
    - 窓の近く
    - 出入り口が常に開いている倉庫
    - 屋外 など
- 保管方法について  
長期間ご使用にならないときは、汚れや水分をふき取り、電池を取り出して保管してください。
- 静電気の影響について
  - 静電気の影響を受けて、誤動作することがあります。
  - 極度に強い静電気は、本機の電子部品を破損することがあります。
- 電源について
  - 電池が消耗すると、下記のような誤動作が起こります。この場合は、長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください。
    - 時刻が遅れる
    - 針が止まる
  - 正常に動作していても、1年に1回は電池を交換してください。消耗した電池を使い続けると、液漏れが発生する場合があります。
  - お買い上げ時に付属している電池は、充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
  - 付属の電池は、時計の機能や性能をチェックするためのモニター用電池です。
  - 付属の電池は、お客様がお買い上げになるまでの期間に消耗します。取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。
  - 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずに速くにふきとってください。

- 受信する電波について  
本機が受信できる電波は「日本の標準電波だけ」です。ただし、日本以外の地域で使用している場合でも、まれに日本の標準電波を受信して自動的に日本の時刻に修正することがあります。日本以外の地域でご使用になる場合は、本機の電波受信機能をオフ（電波受信の動作を行わない状態）にしてください。
- お手入れについて  
汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。
- 電池や本機の廃棄について  
お住まいになられている地区自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 免責事項について  
万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

## 電波時計について

**電波時計とは**  
正確な時刻「日本標準時<sup>\*1</sup>」の情報をのせた標準電波（JJY）<sup>\*2</sup>を受信して、正しい時刻を表示する時計です。なお、標準電波を正しく受信した場合でも、時計内部の時刻演算処理などによって時刻を表示するまでに 1 秒未満のずれが生じます。

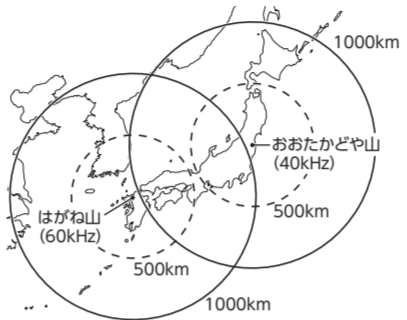
<sup>\*1</sup> 日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。

<sup>\*2</sup> 標準電波：独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運用しており、福島県の「おおたかどや山」(40kHz) および佐賀県と福岡県の境の「はがね山」(60kHz) から送信されています。ほぼ 24 時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策などで一時送信が中断されることもあります。

### 電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ 1000km 離れた場所でも受信することができます。

- 約 500km を超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
- 受信範囲内でも、地形や建物の影響、季節や天候、使用場所、時間帯（昼 / 夜）などによって受信できないことがあります。
- 電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。



### 時計を設置する場所について

「電波を受信しやすい」部屋の窓際などに設置することをおすすめします。ただし、金属の上には置かないでください。  
なお、以下のような場所では、電波を受信しにくくなります。

- ビルの中およびその周辺
- 乗り物の中
- 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
- 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
- 高圧線の近く
- 山間部、山の裏側

## 本機の電波受信機能について

- 「おおたかどや山」(40kHz) と「はがね山」(60kHz) の 2 局のうち、より受信しやすい局の電波を自動的に選んで受信します（自動選局機能）。
- 自動受信は、1 日 7 回、下記の時刻に行います。  
受信開始時刻：午前 2 時 1 分 / 午前 3 時 1 分 / 午前 6 時 1 分 / 午前 10 時 1 分 / 午後 2 時 1 分 / 午後 6 時 1 分 / 午後 10 時 1 分
- 下記の場合は、自動受信は行いません。
  - 時刻のセット状態
  - 電波受信機能をオフにしている
- 受信中に時計を動かしたり、ボタン操作をしたりしないでください。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。
- 電波受信を行わない間の時計の精度は、「製品仕様」に記載している「電波受信による時刻修正ができない場合」の平均月差になります。

## 製品仕様

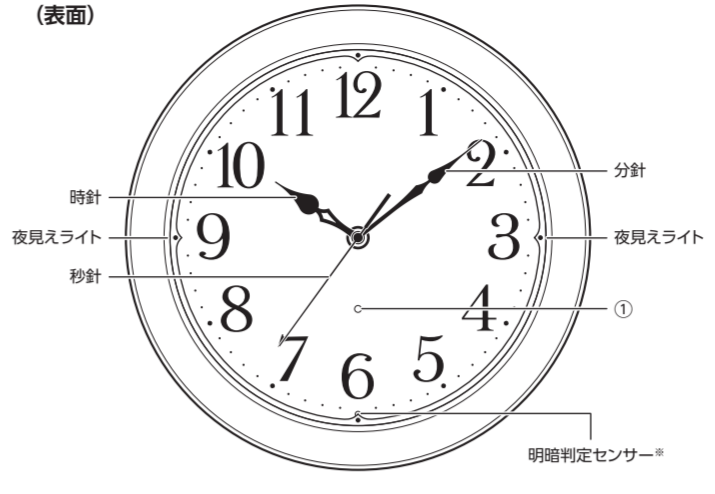
表 示 内 容	時・分・秒（3 針）
電 波 受 信 機 能	受信電波：長波標準電波 JJY（40kHz/60kHz） 自動選局機能 電波受信オン / オフ切り替え機能 自動受信（7 回 / 日）、手動受信
表 示 照 明 機 能	夜見えライト（切 / 弱 / 強切り替え）
そ の 他	秒針停止機能（明暗判定センサー付き）
精 度	電波受信による時刻修正ができない場合 平均月差 ± 30 秒以内
使 用 温 度	0℃～ 40℃
付 属 品	モニター用電池、壁掛け用ネジ
使 用 電 池	単 3 形アルカリ乾電池（LR6） 4 個
電 池 寿 命	約 1 年 電波受信 7 回 / 日、夜見えライト（弱）12 時間 / 日 使用した場合

- ◆使用電池について  
本機は、アルカリ乾電池の特性に合わせて設計されています。
  - 充電式電池は、使用しないでください。初期電圧が低く、電池の特性が合わないため、使用すると本機が正常に動作しない、または電池寿命が極端に短くなる場合があります。

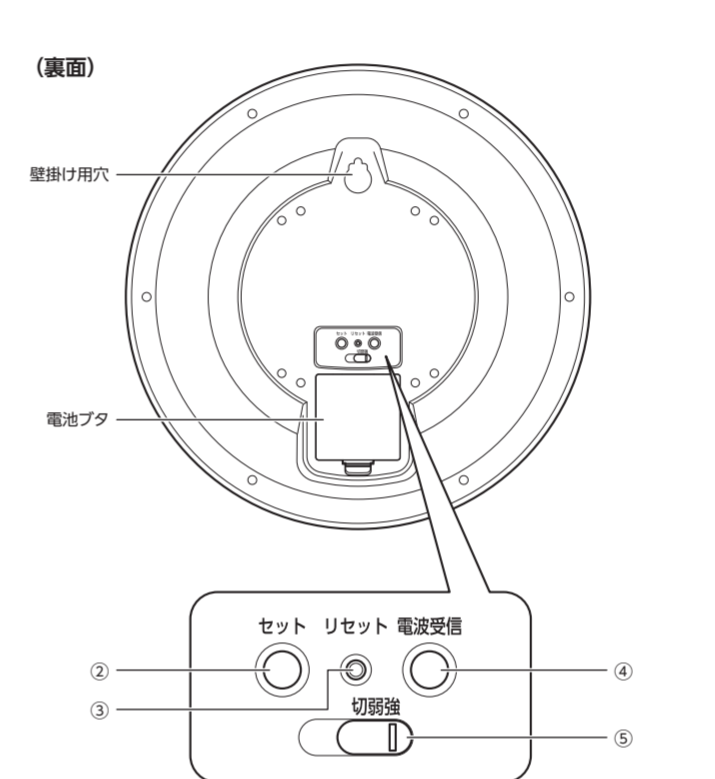
改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

## 各部の名称

- 本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なることがあります。



※ 明暗判定センサーの位置は、製品によって異なります。

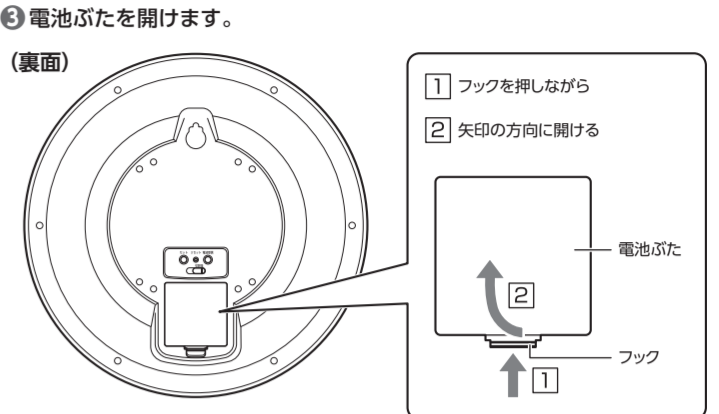


- 注意**  
ボタン操作は動作を確認しながら行ってください。連続で操作すると、動作が間に合わない場合があります。

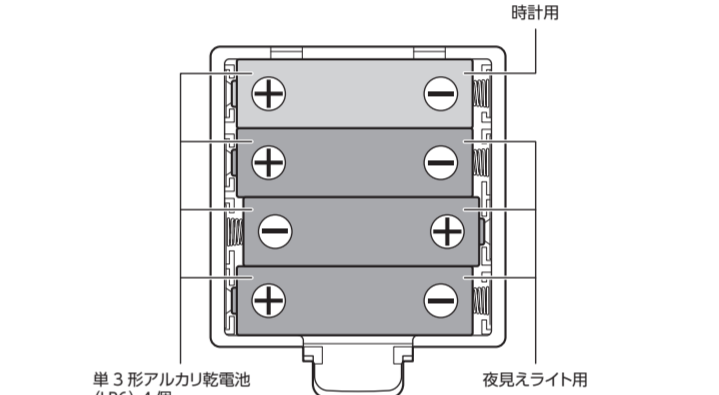
本書の記載	説明
① 電波受信確認ランプ	【電波受信】を押すと、最新の電波受信の結果をお知らせします。 電波を受信できているとき：ランプが 3 回点滅 電波を受信できていないとき：ランプが 3 秒間点灯 ● ランプが点滅も点灯もしない場合は、電波の自動受信中または電波受信機能がオフになっています。
② 【セット】	時刻や設定を変更するときに押します。
③ 【リセット】	電池を入れたとき（電池交換後も含む）に押します。 正常に動作するように、時計を初期状態に戻します。 ● 細い棒などで押してください。
④ 【電波受信】	● すぐに電波を受信したいときに押します（手動受信）。 ● 最新の電波受信の結果を確認するときに押します。 ● 電波受信のオン / オフの設定を確認するときに押します。
⑤ 夜見えライトスイッチ	夜見えライトの明るさを選ぶことができます（切 / 弱 / 強）。

## はじめてご使用になるときは

- ① 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはがします。
- ② 時計と電池を、設置する場所にとっていきます。



- ④ 電池を入れます。
- **注意**
    - 電池はマイナス極から挿入してください。電池を取り外すときは、プラス極から外してください。
  - **重要**
    - 極性（⊕ と ⊖ の向き）に注意して正しく入れてください。
    - 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
    - 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
    - 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。



- ⑤ 電池ふたを閉めます。
  - ⑥ 【リセット】を細い棒などで押します（リセット操作）。
- (裏面)
- 

- 時針、分針、秒針が 12:00:00 に向けて動き始めます。12:00:00 になると自動的に電波受信を開始します（針は 12:00:00 の位置で停止します）。
- すでに時計が動いていても、リセット操作をしてください。

- ⑦ 時計を設置する場所に置きます。
- 
- 実際に設置する場所 →
- 

- 電波受信が終了するまで時計に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約 16 分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、【セット】または【電波受信】を押します。

- ⑧ 電波受信が終了すると針が動き出します。  
◀電波を受信できたとき▶  
時計の時刻が現在時刻になります。
  - ご使用中も、電波の受信状況を確認してください（「電波を受信できているかを確認する」参照）。

- ◀電波を受信できなかったとき▶
  - 「電波を受信できないときは」をご覧ください。

## 壁に取り付ける

### ① 時計を設置する壁の状態を確認します。

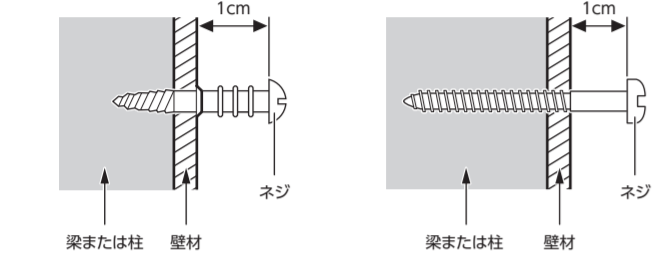
- 掛け具は、しっかりと固定できる場所 (梁、木の柱、木質の厚い壁など) に使用してください。しっかりと固定できない場所に使用した場合、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。
- 石膏ボード、コンクリート、薄い化粧ベニヤ板などには、必ず材質に適した市販の掛け具をご使用ください。
- 粘着タイプの掛け具 (フックなど) は、使用しないでください。
- 掛け具を取り付ける際には、穴をあけるなど壁に傷をつける施工が必要になります。電波の受信状況を確認し、その場所に設置することを決めてから、取り付けてください。

### ② 時計を設置する前に「電波を受信できるかどうか」を確認します。

- 「はじめてご使用になるときは」をご覧ください。設置する場所で電波を受信できるかどうかを確認してください。

### ③ 掛け具を壁に取り付けます。

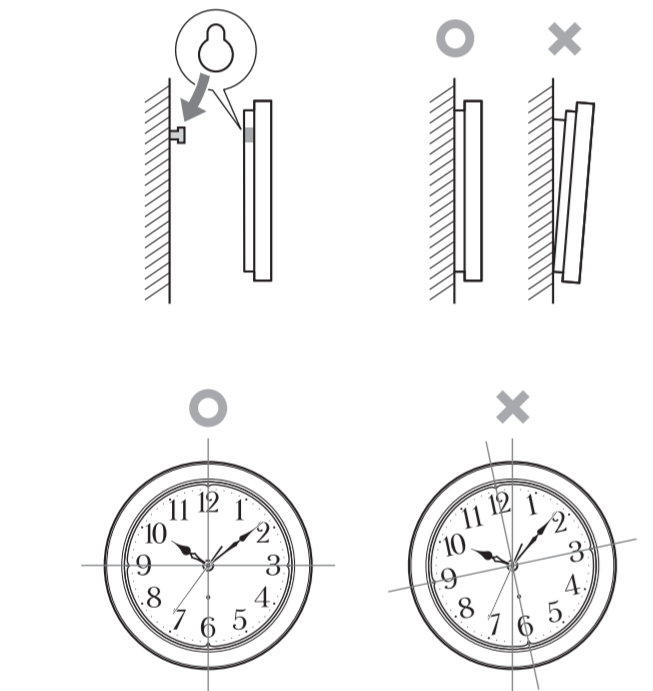
付属のネジの場合 (ネジの形状は製品によって異なります)



- 市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしてください。

### ④ 時計を掛け具に掛けます。

- 掛けた後、時計を上下左右、手前に軽く動かして、しっかり掛かっていることを確認してください。しっかり掛かっていないと、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。
- 水平位置も正しく合わせてください。



### ボタンやスイッチを操作するときは

必ず時計を壁から取り外してください。壁に設置したまま操作すると、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。

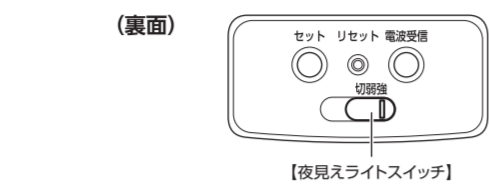
## 暗い所で使うには (明暗判定センサー)

### 夜見えライトの使い方

明暗判定センサーが周囲が暗くなったことを感知すると、LED ライトが自動的に点灯し、明るくなると自動的に消灯します。

### ● 夜見えライトスイッチで夜見えライトを設定できます。

- 強 (オン)・・・明るく照らします
- 弱 (オン)・・・光量を落として照らします
- 切 (オフ)・・・夜見えライトは点灯しません



### ● 注意

- 日中でも時計が設置されている周辺の明るさによりライトが点灯することがあります。
- カーテンや雨戸を締め切った部屋など、1 日中暗い環境で使用すると、電池が早く消耗します。
- 長期の旅行の際は、夜見えライトを「切」に設定してください。

### 夜見えライトの設定と電池寿命の目安

1 日当たりの点灯時間	照明の明るさ	
	強	弱
12 時間	8 か月	12 か月
16 時間	7 か月	10 か月
20 時間	6 か月	9 か月
24 時間	5 か月	8 か月



### 秒針停止機能

明暗判定センサーが周囲が暗くなったことを感知すると、秒針が 00 秒の位置で停止します。秒針が停止しているため、寝ているときに秒針の動く音が気になりません。

- 周囲が明るくなると、秒針が動き始めます。

### ● 注意

- 電波受信中は明暗判定センサーが停止します。電波受信中に周囲の明るさが変化した場合も、電波受信終了後に夜見えライトの点灯・消灯や秒針停止・動作が切り替わります。
- 夜見えライトや秒針停止機能の反応が遅い場合は、電波の自動受信中の可能性があります。
- 日中でも時計が設置されている周辺の明るさにより、夜見えライトが点灯したり、秒針が停止することがあります。
- 針の影が明暗判定センサーの上にあるとき、夜見えライトが点灯したり、秒針が停止することがあります。

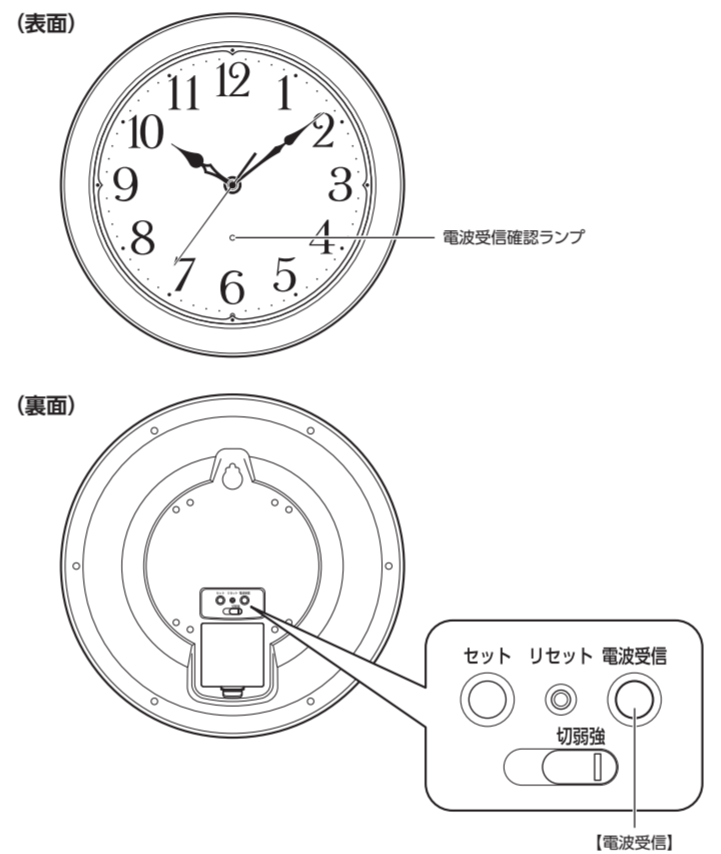
## 電波を受信できないときは

- 一昼夜、時計をその場所に置いておきます。昼間は電波を受信できなかった場所でも、夜間には受信できることがあります。電波の状況は、周囲の地形や建物、季節、天候、時間帯 (昼 / 夜) などで変化します (「電波時計について」参照)。
- 定期的に、窓際などの電波を受信できる場所に時計を持っていき、電波受信のボタンを押して電波を受信します (「ボタンを押して電波を受信する」参照)。電波を受信した後、設置場所に戻します。
- 手動で時刻などを修正します (「ボタンを押して時刻を修正する」参照)。この場合の時計の精度は、「製品仕様」に記載している「電波受信による時刻修正ができない場合」の平均月差になります。
- 時計の設置場所を、電波を受信できる場所に変更します。事前に、電波受信のボタンを押して、新しい設置場所で電波を受信できるかどうかを確認してください (「ボタンを押して電波を受信する」参照)。

## 電波を受信できているかを確認する

### ● 【電波受信】を押して、最新の電波受信の結果を確認します。

- 電波を受信できているとき：電波受信確認ランプが 3 回点滅
- 電波を受信できていないとき：電波受信確認ランプが 3 秒間点灯
- 電波受信確認ランプが点滅も点灯もしない場合は、電波の自動受信中または電波受信機能がオフになっています。

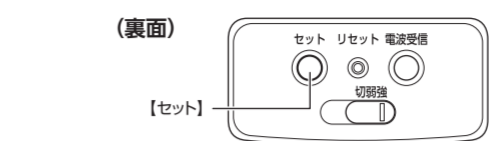


## ボタンを押して時刻を修正する

電波を受信できないときに、ボタンを押して時刻を修正します。

### ① 【セット】を押して、時刻を修正する状態 (セット状態) にします。

- 秒針が停止します。
- セット状態で約 1 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



### ② 【セット】を押して、時刻を修正します。

- 1 回押す：1 分進みます
- 3 秒以上押し続ける：押している間、分針を早送りします
- 秒針を修正する機能はありません。
- 午前 / 午後を区別する必要はありません。

### ③ 【電波受信】を押して、セット状態を解除します。

## 電波受信機能のオン/オフを切り替える

### ● 【セット】と【電波受信】を同時に 5 秒以上押し続けて、オン / オフを切り替えます。

- オン / オフが切り替わった後、秒針が電波受信機能の設定を約 5 秒間指し示します。



- 秒針は、電波受信機能の設定を約 5 秒間指し示した後、通常の動作 (時刻表示) に戻ります。
- オン / オフを切り替えた後、続けて電波受信をする、またはボタン操作で時刻を合わせるときは、秒針が通常の動作 (時刻表示) に戻ってから操作してください。
- 時計をリセットすると、工場出荷時の状態 (電波受信機能がオン) になります。

## 電池を交換する

時計を外し、消耗した電池を抜き取ります。新しい電池を入れ、時刻を合わせます。「はじめてご使用になるときは」の手順 3～7 をご覧ください。

## ボタンを押して電波を受信する

すぐに時刻を合わせたいときなど、必要なときにボタンを押して電波を受信します。

- 電波受信機能がオフになっているときは、電波受信はできません。下記の操作をしても電波受信が開始されないときは、「電波受信機能のオン / オフを切り替える」をご覧ください。電波受信機能をオンに切り替えてください。

### ① 時計を置きます。

### ② 【電波受信】を 3 秒以上押し続けると、受信を開始します。

秒針が 12 時の位置で止まり、電波受信を開始します。秒針は止まっていますが時計内部では時を刻んでいます (時針と分針は動きます)。

- 電波受信が終了するまで、時計に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約 16 分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、【セット】または【電波受信】を押します。

### ③ 電波を受信できたかどうかを確認します。

「電波を受信できているかを確認する」をご覧ください。

## 時計の設置場所を変更したときは

新しい設置場所でボタンを操作して電波受信を行い (「ボタンを押して電波を受信する」参照)、電波の受信状況 (電波の届きかた) を確認してください。